

FY19 決算説明資料

2020年5月18日
東京特殊電線株式会社

1. 決算サマリー	• • • • •	P.03
2. 配当金及び業績予想	• • • • •	P.09
3. 参考資料	• • • • •	P.11

(百万円、%)	FY18	FY19	増減	増減率	増減要因
売上高	18,786	17,755	▲1,030	▲5.5	
売上原価	14,305	13,185	▲1,120	▲7.8	売上原価率
(率)	76.2	74.3	▲1.9pt	—	過年度に発生した連結子会社での類焼による影響が解消された事、フィリピン新工場の本格稼働等により改善となった。
売上総利益	4,480	4,570	+90	+2.0	
販売費及び一般管理費	2,366	2,310	▲56	▲2.4	
営業利益	2,113	2,260	+147	+7.0	
(率)	11.3	12.7	+1.5pt	—	法人税
経常利益	2,176	2,322	+146	+6.7	+78百万円 (▲485百万円→▲406百万円)
(率)	11.6	13.1	+1.5pt	—	法人税等調整額
税金等調整前当期純利益	2,238	2,219	▲18	▲0.8	▲662百万円 (+194百万円→▲468百万円)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,851	1,187	▲664	▲35.9	
(率)	9.9	6.7	▲3.2pt	—	

- 売上高は17,755百万円となり、前年同期比▲1,030百万円（▲5.5%）の減収となった。
- 売上高増減に含まれる為替換算による影響額 ▲133百万円
（電線・ヒータ分野 ▲70百万円、デバイス分野 ▲62百万円）

構成比

電線・ヒータ分野



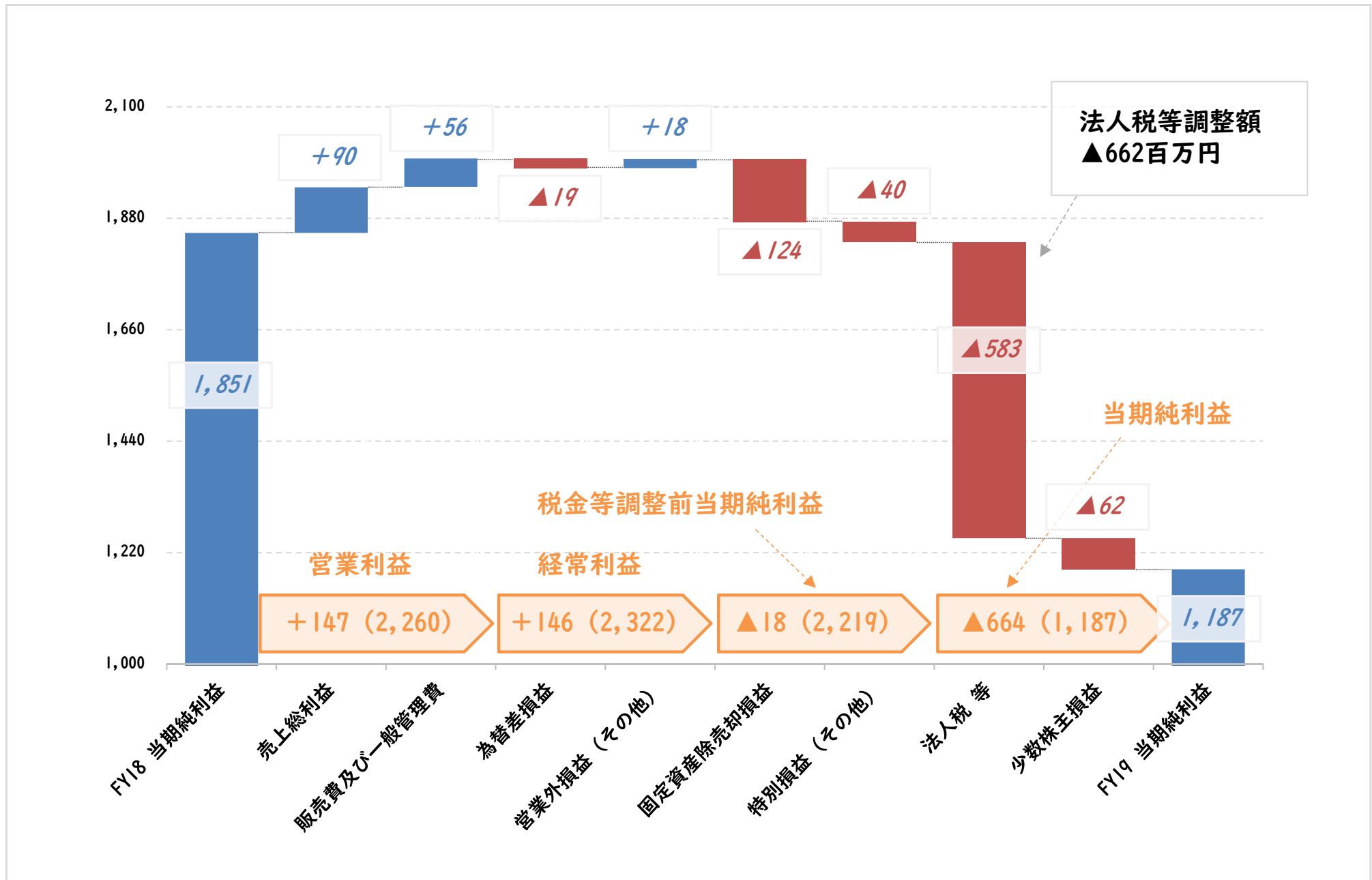
自動車向けシート用ヒータ線、パソコン等の電源トランスに使用される三層絶縁電線は堅調に推移した一方で、鉄道ケーブル及び中国子会社のヒータ線品が減少した為、前年同期比▲688百万円（▲5.8%）の11,111百万円となった。

デバイス分野



スマートフォンのカメラモジュールの手振れ補正用のサスペンションワイヤは増加となったものの、米中貿易摩擦の影響で中国子会社の焼付線、マイクロウェーブ用同軸ケーブルアセンブリが減少した為、前年同期比▲320百万円（▲4.7%）の6,527百万円となった。

（百万円、%）	FY18	FY19	増減	増減率
売上高（連結）	18,786	17,755	▲1,030	▲5.5
電線・ヒータ分野	11,799	11,111	▲688	▲5.8
デバイス分野	6,847	6,527	▲320	▲4.7
その他分野	138	116	▲21	▲15.7



- 営業利益は2,260百万円となり、前年同期比+147百万円（+7.0%）の増益となった。
- 営業利益増減に含まれる為替換算による影響額 ▲10百万円
（電線・ヒータ分野 ▲5百万円、デバイス分野 ▲5百万円）

構成比

電線・ヒータ分野



自動車向けシート用ヒータ線等が堅調に推移した事や主要原材料である銅価格の低下に伴う利益の積み上げがあった一方で、売上高での減収が大きく影響し、前年同期比▲253百万円（▲15.8%）の1,351百万円となった。

デバイス分野



米中貿易摩擦の影響で中国子会社の焼付線が減益となったが、過年度に類焼した連結子会社の影響額が改善された事により前年同期比+119百万円の増益効果、フィリピン新工場の本格稼働による原価率の改善等により、前年同期比+408百万円（+64.0%）の1,046百万円となった。

（百万円、%）	FY18	FY19	増減	増減率
営業利益（連結）	2,113	2,260	+147	+7.0
電線・ヒータ分野	1,605	1,351	▲253	▲15.8
デバイス分野	638	1,046	+408	+64.0
その他分野	▲130	▲137	▲7	—

(百万円、%)	FY18	FY19	増減	増減率	増減要因
流動資産	13,292	14,218	+925	+7.0	流動資産（その他）
現預金、預け金	7,802	8,438	+635	+8.1	売掛債権 +457百万円
その他	5,489	5,779	+290	+5.3	棚卸資産 ▲155百万円 等
固定資産	8,691	8,535	▲156	▲1.8	有形、無形固定資産
有形、無形固定資産	5,893	6,073	+180	+3.1	設備投資 +1,000百万円
投資その他の資産	2,797	2,461	▲336	▲12.0	減価償却費 ▲712百万円
資産合計	21,984	22,753	+769	+3.5	固定資産除売却 ▲34百万円
流動負債	4,659	5,640	+981	+21.1	その他 ▲73百万円
固定負債	4,044	2,816	▲1,227	▲30.4	投資その他の資産
負債合計	8,703	8,457	▲246	▲2.8	投資有価証券 +396百万円
(うち、有利子負債)	2,587	2,394	▲193	▲7.5	繰延税金資産 ▲731百万円 等
株主資本	12,659	13,385	+725	+5.7	株主資本
その他	620	910	+289	+46.7	資本剰余金 +94百万円
純資産合計	13,280	14,295	+1,015	+7.6	利益剰余金 +779百万円
負債純資産合計	21,984	22,753	+769	+3.5	自己株式の取得 ▲148百万円
自己資本比率	57.2	59.4	+2.2pt	—	
Net Cash	5,215	6,044	+828	+15.9	

1. 決算サマリー	P.03
2. 配当金及び業績予想	P.09
3. 参考資料	P.11

2. 配当金及び業績予想

- FY19の年間配当金は、60.0円／株（中間配当金 30.0円／株、期末配当金 30.0円／株）
- FY20の年間配当金は、60.0円／株の予定
- FY20の業績予想は下表の通りとなります。
（詳細につきましては、同日に公表致しました決算短信をご参照下さい。）

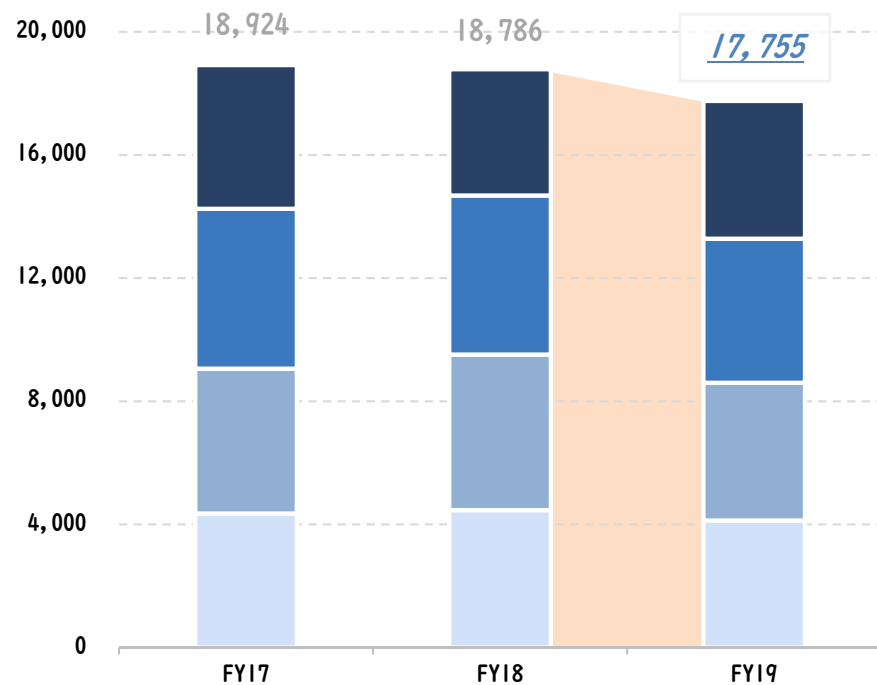
配当金（円.銭、％）	中間配当	期末配当	合計	総額（百万円）	配当性向
FY18	30.0	30.0	60.0	407	22.0
FY19	30.0	30.0	60.0	405	34.3
FY20（予想）	30.0	30.0	60.0	—	33.7

業績予想 （百万円、％）	FY19				FY20		
	前回予想	実績	前回比	増減率	今回予想	前年度比	増減率
売上高	17,500	17,755	+255	+1.5	16,700	▲1,055	▲5.9
営業利益	2,000	2,260	+260	+13.0	1,700	▲560	▲24.8
経常利益	2,040	2,322	+282	+13.9	1,700	▲622	▲26.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,350	1,187	▲162	▲12.0	1,200	+12	+1.1

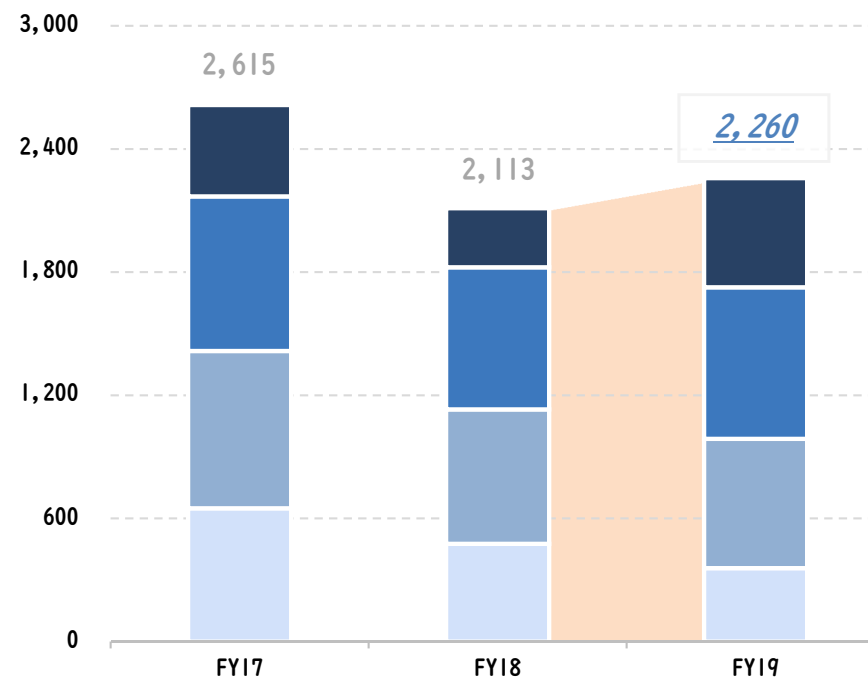
1. 決算サマリー	P.03
2. 配当金及び業績予想	P.09
3. 参考資料	P.11

- ・ 分野毎の増減説明につきましては、P.4及びP.6をご参照下さい。

売上高 (百万円)

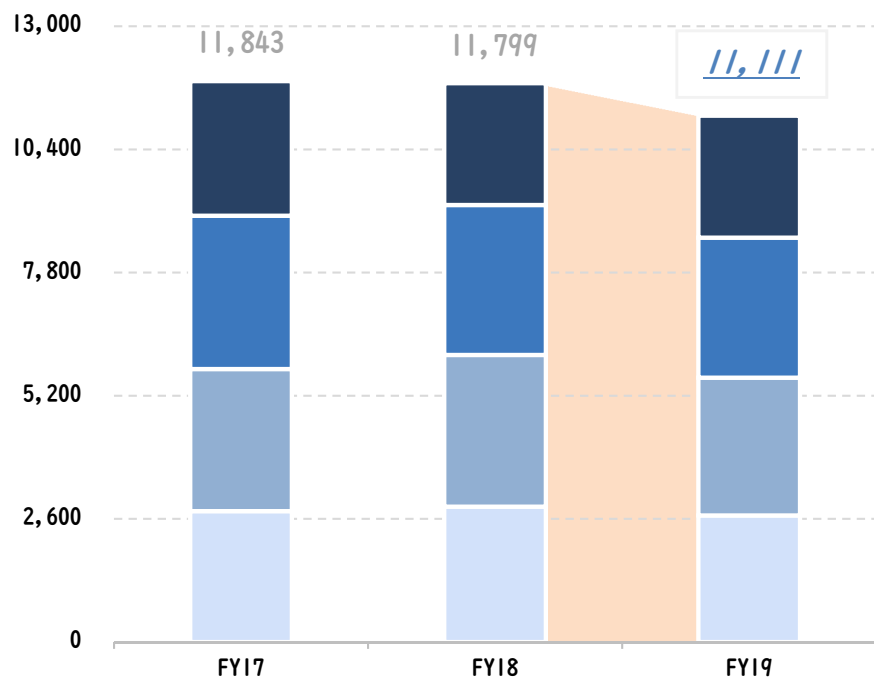


営業利益 (百万円)

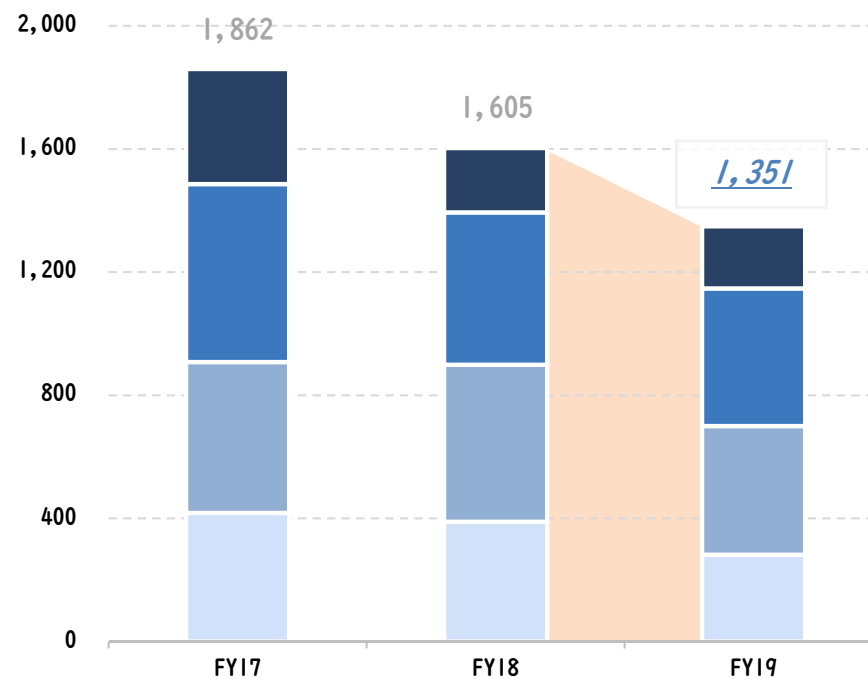


- ・ 分野毎の増減説明につきましては、P.4及びP.6をご参照下さい。

売上高 (百万円)

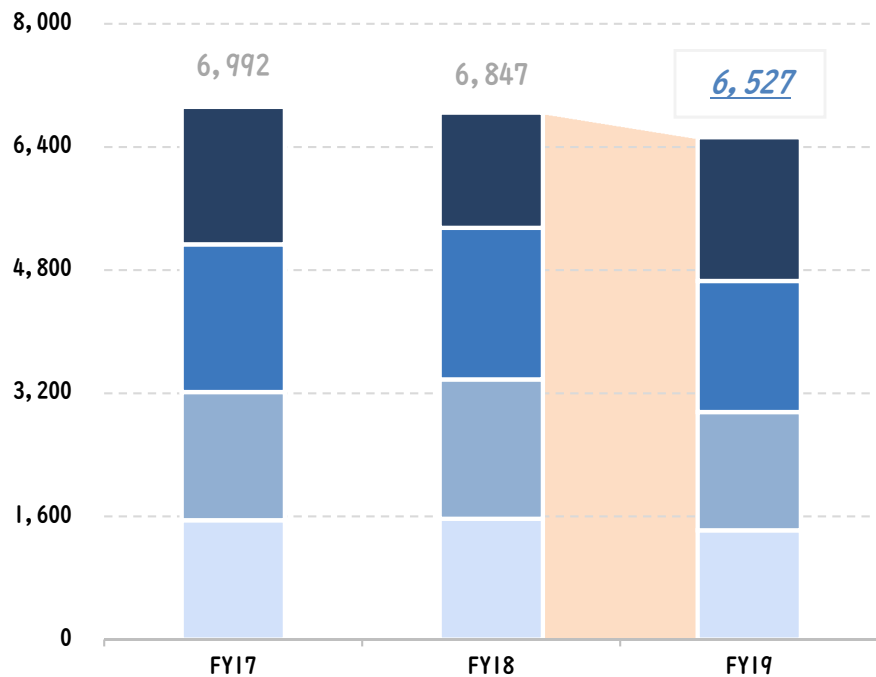


営業利益 (百万円)

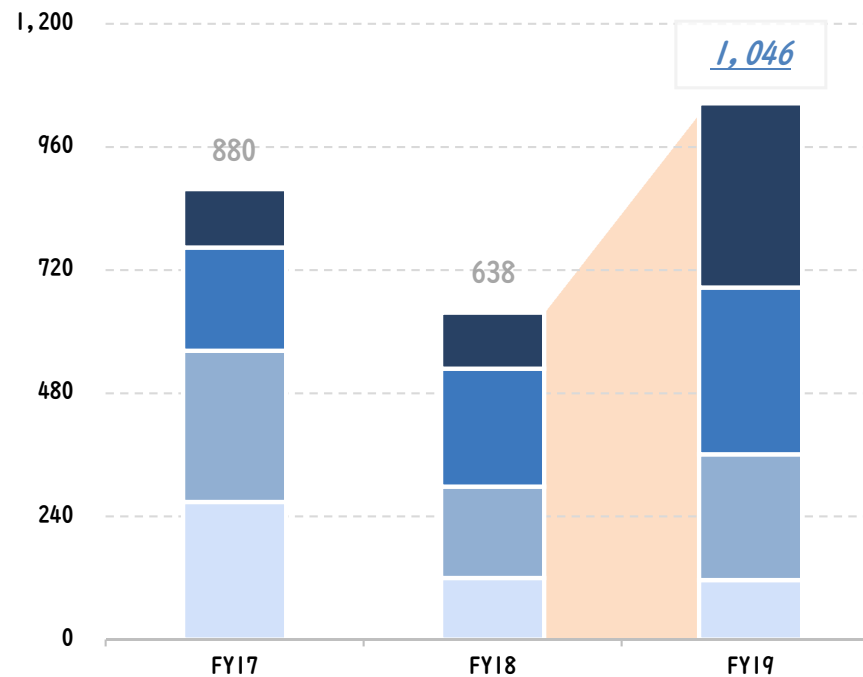


- ・ 分野毎の増減説明につきましては、P.4及びP.6をご参照下さい。

売上高 (百万円)

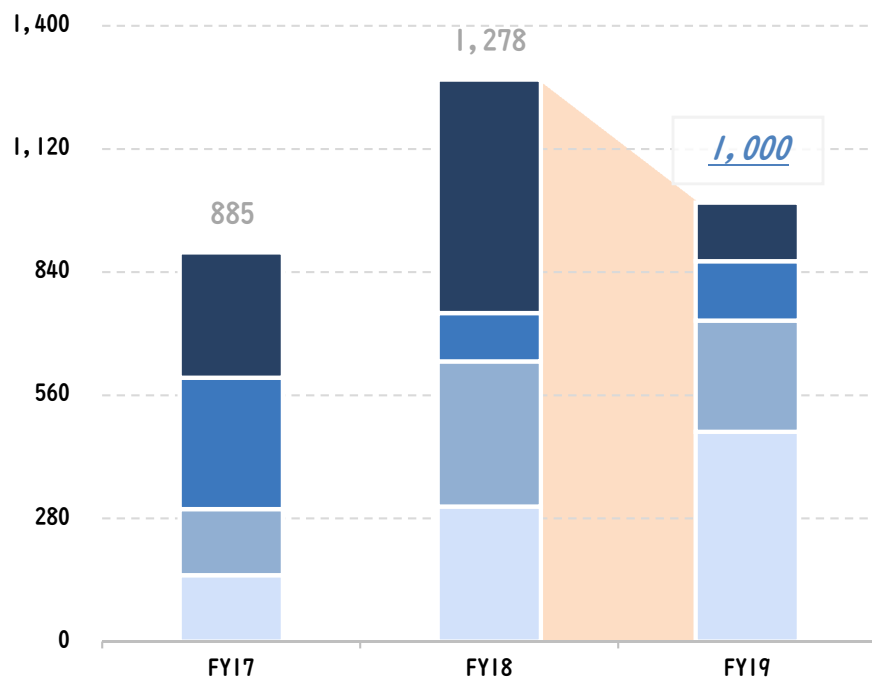


営業利益 (百万円)

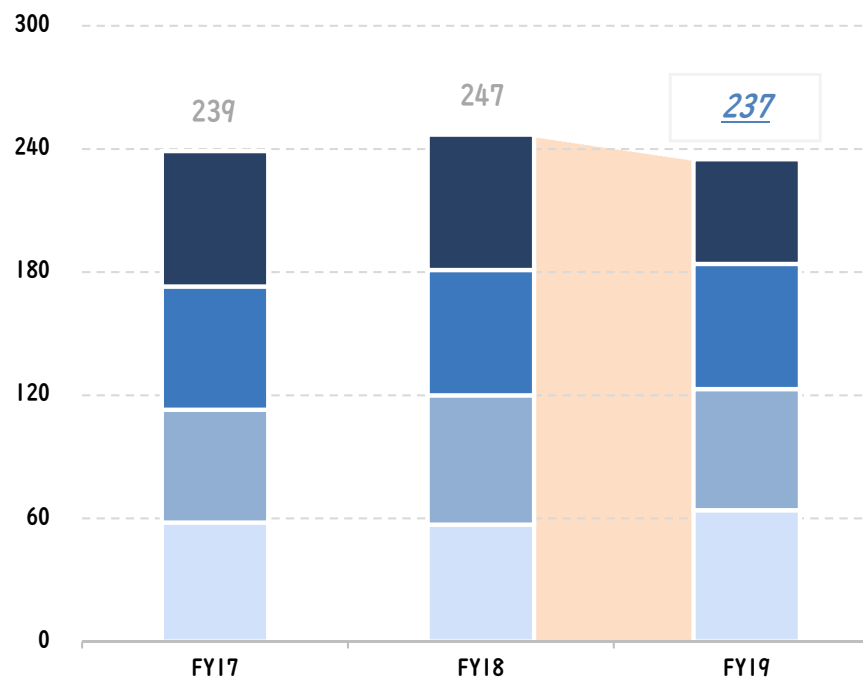


- ・ 設備投資は前年同期で連結子会社にて新工場に係る設備投資があった為、前年同期比▲282百万円（本体+140百万円、連結子会社▲423百万円）の1,000百万円となった。
- ・ 減価償却費は、前年同期比+57百万円の712百万円となっている。
- ・ 研究開発費については、前年同期比▲11百万円（本体▲5百万円、連結子会社▲5百万円）の237百万円となった。

設備投資 (百万円)



研究開発費 (百万円)



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がございます。